

## 土木施工

Engineer

shotaro taniguchi  
谷口祥太郎

2012年4月入社

土木環境工学科卒

所属/土木本部



### 私の仕事

#### ■ 自信に繋がる仕事

現在私は、河川に樋門と護岸を作る現場に従事しています。現場では主に、測量、日々の作業、出来形などの写真管理や職人さん達との作業や工程の打合せなどをしております。入社1年目は、現場での写真管理を主に任されておりました。入社当初は作業や道具の名前やどういう写真を撮ればいいのか分からず苦労しました。2年目は写真管理に加え、測量も任されるようになりました。私が測量し、掛けた丁張り(基準)を元に現場が進んでいくため初めのうちは不安もありましたが、掘削し整形された法面が綺麗な線形を描いたときや設計通りの構造物が出来たのを確認した時、自分の測量や丁張り掛けが間違っはなかった!と自信に繋がりました。



### 夢の実現にむけて

#### ■ 充実した日々のために

現状の私では現場管理のサポート業務しかできませんが、これから多くの経験を積み、スキルアップのためにも資格に挑戦していきたいです。そして早く自分で現場を動かしていけるようになりたいです。しかし、すぐ自分で現場を動かせるようになるのは難しいと思うので、まずは「1級土木施工管理技士」を一発合格することを目標に頑張っていきたいです。また、仕事だけでなくプライベートの時間を充実させることも大切だと思うので、公私共に充実した日々を過ごせるよう作業能力を向上していきたいです。



### 志多組を選んだ理由

#### ■ 土木技術者への興味

私は出身も大学も宮崎で、県外就職は考えていなかったため、県内就職を前提に就職活動を行っていました。就職活動をしていたところ志多組の求人を見つけ応募しました。土木技術者という職業について知識があった訳ではありませんが、興味があったので入社を決めました。



### 学生のみなさんへ

#### ■ かけがえのない時間を人生の糧に

「大学で学んだことすべて役立つ訳ではないだろう」と思っていたのですが、これほどまでとは思っていませんでした。入社当初は分からないことだらけで不安でしたが、同時に起こることすべてが新鮮でおもしろかったことを覚えています。入社希望の学生の方で、入ってからのことが心配。という方もおられると思いますが、親身に指導して下さる先輩方もいますし、測量機器やCADなどの使い方も現場に出て使っていくうちに自然と身についていくので安心していいと思います。また大学4年間は、一つのことに対し没頭できるかけがえのない時間であり、その没頭したものは、就職活動中や社会に出てからの武器になると思います。私は、大学でダンスに出会い、4年間ダンスに没頭してきました。その4年間で得たものは自分の武器だと思っています。なので、学生の皆さんは大学4年間で没頭し得たものをこれからの社会人生活に活かして欲しいと思います。



### 1日のスケジュール

- 出社  
作業指示書の確認  
朝礼  
(作業内容確認等)
- 現場巡回  
作業員との打合せ  
(作業、測量等)
- 測量
- 出来形測定、写真管理
- 昼休憩 (12:00~13:00)
- 作業員との打合せ  
(午後、翌日の工程打合せ)
- 発注者立会
- 現場巡回
- 作業員との打合せ  
(翌日以降の工程打合せ等)  
写真整理  
翌日の工程段取り等
- 退社